

～携帯電話で営業日報の作成が可能に～

営業支援システムに「音声による文字入力機能」を導入

株式会社池田泉州銀行（頭取兼 CEO：服部盛隆、以下「池田泉州銀行」）は、平成24年夏を目途に、株式会社フュートレック（社長：藤木英幸、以下「フュートレック」）の音声認識技術「vGate」*1を活用した音声による文字入力機能を、当行の営業担当者が使用する営業支援システムに導入します。

従来、日々の営業日報は、店内の業務用パソコンを用いて帰店後に作成していましたが、このたびの取組みで、営業担当者が携帯電話に向かって話した声そのまま文字に変換され、本部の情報システムへ即時に登録し、手間をかけることなくリアルタイムで営業日報が作成されることになり、行内での情報共有がよりスピーディに可能となります。これは、フュートレックと共同開発した「銀行業務向け音声辞書」搭載により、高い認識率で文字変換が可能となるためです。

当行は、平成22年9月より、「英語・中国語・韓国語・日本語」の4ヶ国語に対応した「自動音声翻訳機」を当行の外貨両替ショップに設置運用するなど、自動音声認識技術の銀行業務への活用に継続して取り組んでおり、これらの取組みで得られた各種データを技術の精度向上につなげるとともに、今後は商品販売記録の作成等にも応用していく予定です。

なお、このたびの共同開発の成果を、きたる本年10月19日（水）、20日（木）に東京国際フォーラムで開催されるFIT2011（国際金融情報技術展）*2において出展いたします。

*1 「vGate」は株式会社フュートレックの登録商標です。

*2 FIT2011（国際金融情報技術展）について

日本金融通信社が主催する国内最大の金融機関向け IT 展示会。過去10回の開催で、のべ12万人以上の金融機関、金融機関関係者が来場されています。このたびの共同開発の成果は、株式会社 NTT ドコモの営業支援端末（携帯電話）と株式会社インテックの営業支援システムを使用しており、両社のブースにて出展いたします。

【利用イメージ】

